

オンラインワーカーを
五ヶ瀬にたくさん呼び込もう

秋岡真和

仮説

オンラインワーカーに五ヶ瀬
の仕事場所を紹介してもらえ
ば五ヶ瀬が活気づくだろう

オンラインワーカーとは

登録者の希望するワークスタイルに合わせ、場所や時間に捉われない仕事を紹介する人達のこと。

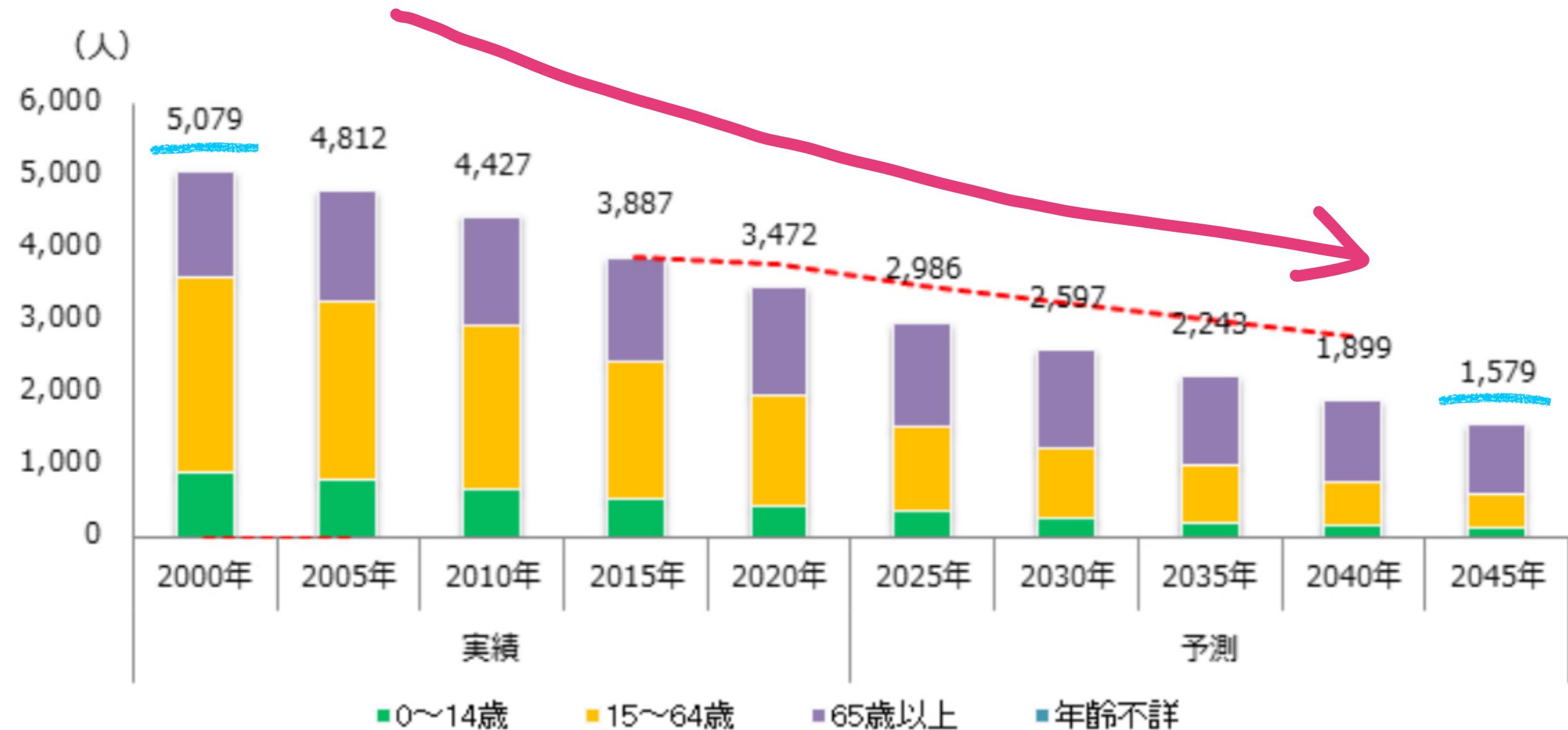
五ヶ瀬の現状

役場が今行なっている取り組み

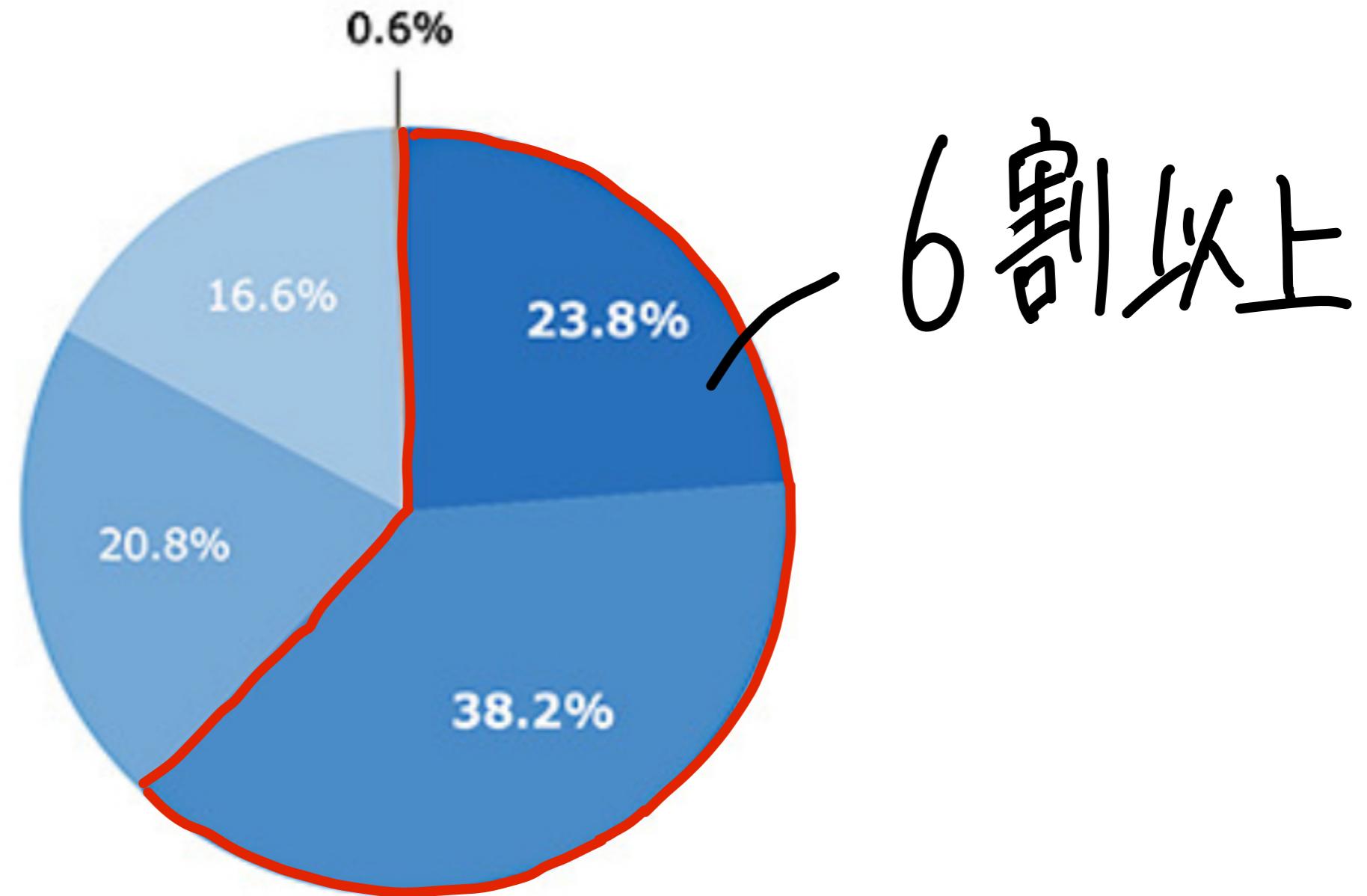
- ・ 関係人口の取り組みをしている
(自然学校に大学生を呼ぶなど)
- ・ 地域解決 (サテライトオフィス)

人口推移

五ヶ瀬町の人口推移



Q1. あなたは、観光地やリゾート地で休暇と仕事をうまく切り替えながら行う、「ワーケーション」制度の取り組みについて、興味がありますか。



■ 非常に興味がある ■ 少し興味がある ■ あまり興味がない ■ 全く興味がない ■ 既に自社で導入している

「ワーケーションに興味がある人やオンラインワーカーにターゲットをしほって五ヶ瀬に呼ぼう！」

五ヶ瀬に来ることのメリット



- ・自然の中で子育てができる
- ・夏が涼しい



・野菜が安価で手にはいる



- ・都市へ行こう→熊本空港、熊本駅が近い



・景色がきれい

五ヶ瀬に来ることのデメリット

- ・ お店が少ない
- ・ 冬が寒い
 - タイヤの交換
 - 暖房費がかかる



お金がかかる

オンライン仕事のデメリット

- ・コミュニケーションがとりにくい
- ・仕事とプライベートの切り替えがしづらい
- ・業務環境を整える手間がかかる

提言1

コワーキングスペースを、
ながら観光（癒しの空間）
として活用する



コワーキングスペースとは
異なる職業や仕事を持った人たちが同じ仕
事場に集まり、作業場をシェアすること

コワーキングスペースをつくる目的

オンラインワーカーの方達にワーケーションとして五ヶ瀬のコワーキングスペースを利用してもらう



観光客、ビジネス客、移住者の増加につなげる

コワーキングスペースの活用例

宮崎県 椎葉村 「Katerie」

椎葉村交流拠点施設にコワーキングスペースを作っている。

宮崎県 高千穂町 「四五二」

飲食店として営業していた建物をリニューアルしている。徒歩圏内には多くの飲食店や観光地がある。

コワーキングスペースをつくる うえで大事な事

- ・wi-fi設備（スターリンク）

農村地域や過疎地域、山地などの電波
が到達しづらい地域でも高速かつ信頼
性の高い通信の提供を実現する5G /衛
星回線との組み合わせを利用する

SDGsとの関連

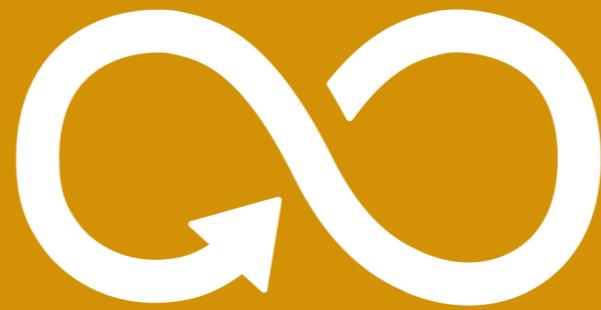
11 住み続けられる まちづくりを



目標11—a 「経済、社会、環境
面における都市部、年周辺部及
び農村部門の良好なつながり」

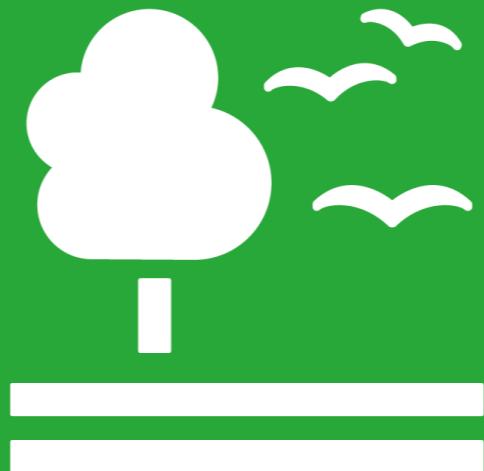
12

つくる責任
つかう責任



目標12-8 「持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識」の向上

15 陸の豊かさも 守ろう



目標15-4 「2030年までに持続可能な開発に不可欠な便益をもたらす山地生態系の能力を強化するため、生物多様性を含む山地生態系の保全を確実に行う」

利点

- ・コワーキングスペースを活用することで家計に負担がかかることなく仕事ができる
- ・一つの場所で冷暖房を使うので節約になる
- ・仕事場を低コストで確保できる
- ・作業に集中しやすい
- ・いろんな人と繋がりが生まれる

コワーキングスペースの欠点

- ・コワーキングスペースをつくれたとしても固定費をかけすぎて経費を削減することに苦戦してしまう
- ・人件費がかかる

無人運営の活用

コワーキングスペース無人運営のメリット

- ・人件費が抑えられる
- ・営業時間を拡大しやすい
- ・キャッシュレス決済により会計などの間違いがなくなる
- ・キャッシュレス決済により精算処理が素早く済む

人手を必要としない運営方法

- 1、受付スタッフ→受付システム、
サービスで対応
- 2、清掃→利用した人達が掃除
- 3、入会、退会、決済等の対応
→オンラインで対応

コワーキングスペースの主な設置場所

- ・ 鞍楽
- ・ 風のホール
- ・ 町民センター
- ・ 荒踊の館
- ・ ふれあいの里
- ・ スキーセンター
- ・ 空き家、空きスペース

オンラインワーカーの方々 の宿泊施設

- ・キャンプ場
- ・木地屋
- ・木地屋やキャンプ場などの近くの民宿施設
(民宿施設はwi-fiがないことがデメリット)
- ・ゲストハウス エルカンポ
- ・ホテル フォレストピア

どこから経費を持ってくるか

- ・デジタル田園都市国家構想推進交付金
地方創生テレワークタイプ
サテライトオフィス等活用促進事業
(既存施設の拡充、利用促進)
を利用する

デジタル田園都市国家構想推進 交付金とは

デジタル田園都市国家構想の実現、
デジタルを活用した地域の課題解決
や魅力向上させるための自治体
の取り組みを、国が支援するとい
うもの。

地方創生テレワークタイプとは

「転職なき移住」を実現し、地方への新たな人の流れを創出するため、サテライトオフィスの整備、利用促進等に取り組む自治体を支援する交付金のこと

＜主な採択事例＞

- サテライトオフィス等整備事業（自治体運営施設整備等）
- サテライトオフィス等開設支援事業（民間運営施設開設支援等）
- サテライトオフィス等活用促進事業（既存施設拡充促進）
- 進出支援事業（利用企業助成）
- 進出企業定着・地域活性化支援事業

提言2

お試し無料体験の開催
で呼び込み

提案の効果

- ・交流が増える
- ・リピーターが増える



五ヶ瀬が活気づく

内容

事前にInstagramやX
(twitter) で呼び込みをして、お試し無料体験を実施する

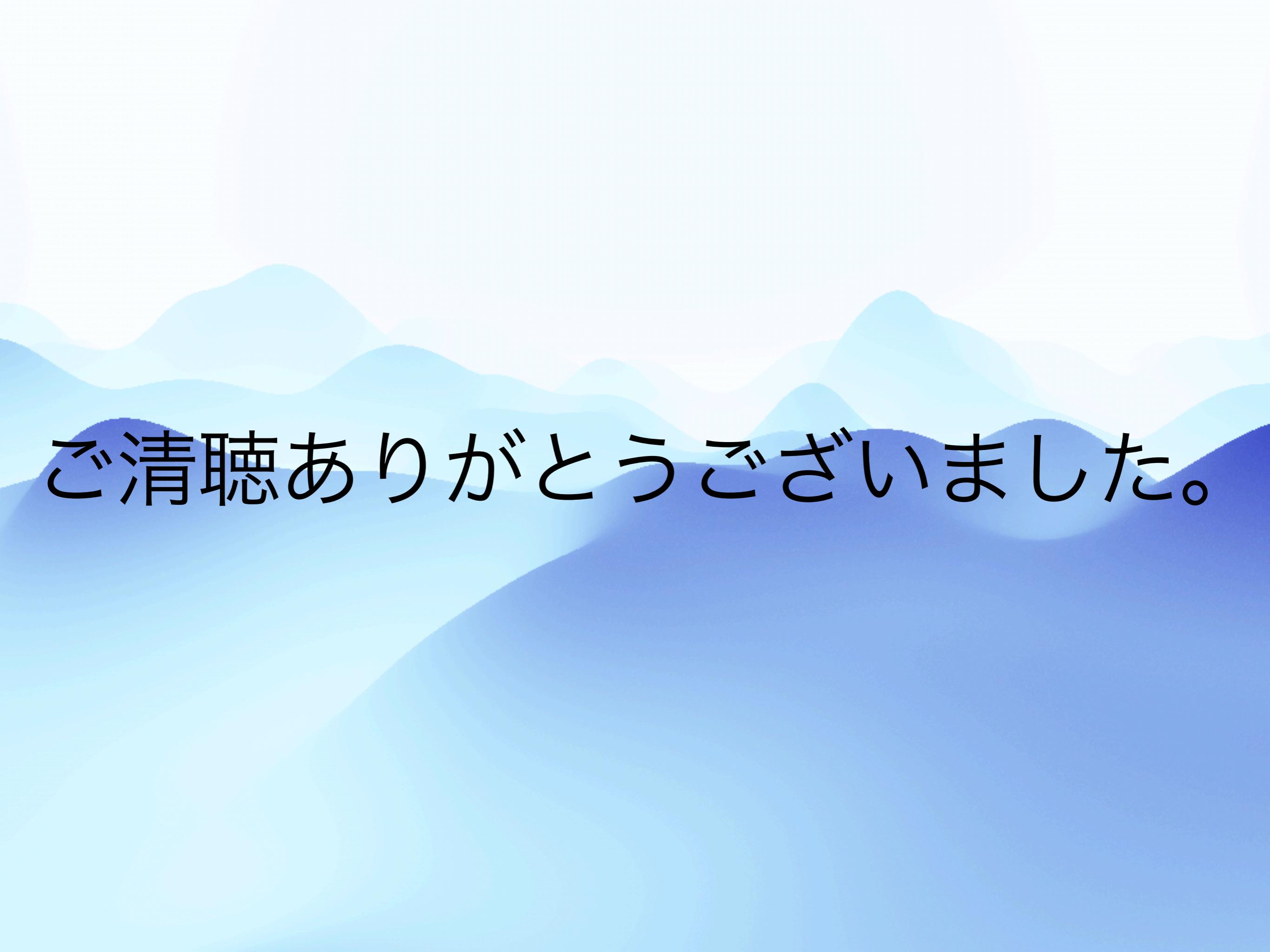
コース選択

- ・ 1日無料体験コース
- ・ 1週間無料体験コース

この無料体験が成功して1週間以内に長期契約してくれた方、また、契約した方でお友達を紹介してくれた方には特典で、初回利用から1ヶ月コワーキングスペースの利用を無料にする

まとめ

- ・地方でも通信環境に信頼があれば、仕事でも観光でも人が多く集まる場所になる
- ・五ヶ瀬にある活用が少ない公共施設や豊かな自然環境を利用すれば人が訪れる
- ・コワーキングスペースの活用はSDGsの貢献につながる



ご清聴ありがとうございました。